

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 11 日 (2013.4.11)

【公開番号】特開 2010-235923 (P2010-235923A)

【公開日】平成 22 年 10 月 21 日 (2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報 2010-042

【出願番号】特願 2010-42985 (P2010-42985)

【国際特許分類】

C 0 8 F 4/6592 (2006.01)

C 0 8 F 10/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 4/6592

C 0 8 F 10/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 25 日 (2013.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ルイス酸性化合物を 0.01 mmol/g 以上 0.4 mmol/g 以下の範囲で吸着することが可能な担体 [A] と、周期律表第 3 族～第 11 族からなる群に属する、炭化水素溶媒に可溶な遷移金属化合物成分 [B] と、遷移金属化合物成分 [B] と反応して触媒活性を有する金属錯体を形成することが可能である活性化剤 [C] とから構成されるオレフィン重合用固体触媒の製造方法であって、担体 [A] の存在下で遷移金属化合物成分 [B] と活性化剤 [C] とを、遷移金属化合物成分 [B] の添加開始時刻と活性化剤 [C] の添加開始時刻との時間差および遷移金属化合物成分 [B] の添加終了時刻と活性化剤 [C] の添加終了時刻との時間差を両添加時間の平均値に対して 10% 以内にして添加することを特徴とするオレフィン重合用固体触媒の製造方法。

【請求項 2】

遷移金属化合物成分 [B] の添加速度が、添加中の変動幅が平均添加速度の 0.9 倍以上 1.1 倍以下である請求項 1 記載のオレフィン重合用固体触媒の製造方法。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のオレフィン重合用固体触媒の製造方法により調製されるオレフィン重合用固体触媒を液体成分 [D] と組み合わせて使用するポリオレフィンの製造方法であって、液体成分 [D] が、下記式 (1) で示される炭化水素溶媒に可溶な有機マグネシウム化合物 [E] と、アミン、アルコール、シロキサン化合物から選ばれる化合物 [F] とを反応させることによって合成されることを特徴とするポリオレフィンの製造方法



〔式中、 M^1 は周期律表第 1 族、第 2 族、第 12 族、および第 13 族に属する金属原子であり、 R^1 および R^2 は炭素数 2 以上 20 以下の炭化水素基であり、 a 、 b 、 c 、 d は次の関係を満たす実数である。 $0 < a$ 、 $0 < b$ 、 $0 < c$ 、 $0 < d$ 、 $c + d > 0$ 、 $e \times a + 2b = c + d$ (ただし、 e は M^1 の原子価) 〕